

## 選考した学長の業務執行状況について

(令和2年度)

学長は、第3期中期目標の達成に向けて、リーダーシップを発揮して教職員を指揮し、法人の基本的な目標に沿って年度計画を十分に実施した。これらについては、令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書及び国立大学法人東京学芸大学監事の意見からも十分に認められるものである。

なお、教員就職率の向上について、教員養成大学を取り巻く状況が厳しい中ではあるものの、「教師を目指す学生の入学を増やす方策」、「入学後における教師という職業に対する魅力の向上策」、「教師となるための自信を高める方策」、等の課題に引き続き取り組んでいくことが望まれる。また、これらの取組により、社会に向けて東京学芸大学の価値を示していくことを期待する。

### 【業務執行状況確認資料】

- (1) 国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づく、選考した学長の業務執行状況に関する意見について（令和2年度）
- (2) 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書

国立大学法人東京学芸大学学長選考等規程第10条の2の規定に基づき、選考した学長の業務執行状況（令和2年度）について、上記のとおり確認をした。

令和3年9月24日

国立大学法人東京学芸大学学長選考会議